

第 112 回紫友まち歩き

今日の「みなとみらい」

・ ・ ゴンドラから眺める未来都市

横浜、未来都市。ロンドンテムズ川に架かるゴンドラと、みなとみらいの運河上空に架かるゴンドラはどんな風に違うのでしょうか。ロンドンは高度感のスリル、横浜は快適な空中散歩でした。

日時： 2026年2月21日(土)

集合時間： 14時

集合場所： JR 桜木町駅改札前

「観光案内所」付近

参加者： 10名

案内人： 松永文昭(017D)

懇親会： 海風季 ラクシスフロント店

懇親会参加者： 9名

歩いた歩数： 約 10,600歩

■ まち歩き行程

JR桜木町駅観光案内所→横浜市役所→横浜エアキャビンゴンドラ→運河パーク→大観覧車→横浜ワールドポーターズ→自動車道→横浜市庁舎3F→懇親会

<スタート>

① JR 桜木町駅観光案内所

かつて東急東横線の終着駅でした。

全員へ連絡の行き違いあったものの、馬車道駅集合者を迎えに横浜市庁舎に向けて出発しました。



② 横浜市庁舎：

2020年に全面移転。柴田さんの建築学科同窓の国吉氏が横浜市都市デザイン室創成期以来「みなとみらい」の全体開発に取り組んだ成果の一つで、庁舎は官民融合の際立った、最新鋭のできあがりです。横浜市の建築技術の高さを物語ります。低層部には商業施設「ラクシス フロント」やアトリウムがあり、市民や観光客に開かれた庁舎となっています。

ここで馬車道集合組と合流して横浜エアキャビンロープウェイへ向かいました。

③横浜エアキャビン

日本初の都市型循環式ロープウェイ。桜木町駅前と運河パークを約5分で結び、街を立体的に移動できます。

設計、経営は大阪に本社を置く泉陽興業株式会社。民設民営で公募の上採用されました。





④ 大観覧車

運河パークから徒歩で大観覧車へ。



横浜の全貌を一望します。まち歩きの会員と共に目にした記憶は忘れません。



⑤ 海外移住資料館

彼女は海外移住経験者です、と話しかけると丁寧に対応してくれた係員。移住の苦労と成果。広島県からの移住の多かった理由は広島の人々がよく働いて出身者を指名されたのが理由です。



併設のカフェでちょっと一休み。歩く途中でビールを飲めるコースはいいねの声がありました。集合写真撮りました。

⑥ 横浜ワールドポーターズ

海を臨む、世界に開かれた港をコンセプトにした大型商業施設。飲食店や雑貨店が充実しています。屋上に上がって、富士の見える夕焼けを見ました。





⑧横浜市庁舎 3F：懇親会場

海風季 ラクシスフロント店

個室の中でゆっくりと会話しながら、松永さんが苦労して選んだ極上の和食を優雅に楽しみました。蠟山さんは子どもの時に交通事故にあったのがきっかけで小石川高校に入学することになったと話しました。足に残る事故の痕と、同窓たちとの語りいでした。

松永さんは、みんなに対するこのくらいの苦労は大丈夫ですと話しました。

⑦自動車道

1911年に開通した臨港鉄道の廃線跡を利用した遊歩道です。トラス橋などの遺構が残り、歴史を感じながらゆっくりと歩きました。



文責 山口





荻原 宮地 蠟山 松永 大平 柴田 山口
小林 太田 八重樫



蠟山 荻原 大平 柴田 松永 小林 宮地 太田 山口

